

第2回委員会における質問事項及び対応方針(案)一覧

資料-2

	項目	質問事項等	対応方針(案)	備考
1	河川整備計画全般に関する事項について	県管理区間や市管理区間等の上流や支川の河川整備との整合性についての基本的な考え方の整備計画への記述について。	河川整備計画の検討は、支川等の管理者と十分連絡・調整の上実施します。河川整備計画素案の作成に当たっては、支川管理者との連携、整備に当たっての進捗調整等の記述について検討します。	
2	治水対策目標流量に対する具体的方策について	遊水地の候補になっている地域の冠水頻度について。	遊水地の候補地域におけるS59～H15年の20年間の浸水実績について水害統計から調査した結果、概ねの冠水頻度は、6～7年に1回(3回/20年)程度です。	
		河道の水位低下対策(遊水地+河道掘削案)に関する具体的な説明について。	河道水位低下対策比較検討ケースについて、河道掘削案、河道掘削+遊水地案についてコスト、工程の面から整理しました。	資料-3
		整備計画実施による流下能力のバランスの変化に関する資料について。	現況流下能力について整備計画目標であるS61.8洪水規模で評価するとともに、現況と整備計画実施後の達成度について整理しました。	資料-3
		第2回委員会資料-2の12P、第2案河道掘削による対応の中の「河道掘削では上下流の安全度の格差が拡大」との表現について、河道掘削も上下流のバランスをとりながら実施できないか。	上下流の安全度格差を拡大しないように掘削しようとすれば時間がかかるということであり、表現について修正しました。	資料-5 [第2回委員会資料-2を修正]
3	治水対策と土地利用について	今後、河川と都市計画、土地利用の関係部局との情報交換、協議が必要。整備計画の中での取り組みの方向性の提起について。	河川整備計画素案の作成に当たっては、流域内の流出抑制対策等を考慮した土地利用について、関係機関との情報交換、連携に向けた取り組み等の記述について検討します。	
4	堤防の質的整備について	堤防の信頼性を積極的に公表し、住民がどのくらい堤防に信頼を置いていいかということについて、情報提供をしていくということは大切。	堤防詳細点検の実施状況と結果の公表、質的整備の考え方について整理しました。	参考-1
5	水質の改善について	BODが良くなっているから水質が改善されているという印象が強いのは問題。阿武隈川の濁りと水質汚濁との関係についての資料について。	過去の水質調査試験データを基に、濁度、SS等濁りに関する項目について整理しました。	参考-2
		阿武隈川のBODについてC類型はなくなったのではないかと。なくなったのであれば削除した方が良い。	第2回委員会 資料-2 P11のBODの経年変化グラフを修正しました。	資料-6 [第2回委員会資料-3を修正]
6	人と河川との豊かなふれあいの場の確保について	人と河川とのふれあいの状況についてたくさん事例を示しているが、阿武隈川について、具体的に河川愛護団体やNPO団体などがどの程度あるのか。	阿武隈川と関わりのある団体等についてリストを整理しました。	参考-3
		流域の人たちがに関わった様々な取り組み事例があり、地域づくりの面からも活発に活動している。そのような活動をできるだけ増やす、材料にしていくという部分を整備計画の中で詰めていってどうか。	河川整備計画素案の作成に当たっては、地域が主体的に行っている河川に関わる活動の紹介及びそれら活動への支援、育成、連携の推進等の記述について検討します。	資料-6 [第2回委員会資料-3を修正]
7	健全な水循環系の構築に向けた取り組みについて	安積疎水等他水系から阿武隈川流域への導水について、健全な水循環系の構築のところでも触れておく必要がある。	河川整備計画素案の作成に当たっては、流域の水循環系の概要の部分に他水系からの導水の状況に関する記述について検討します。	資料-6 [第2回委員会資料-3を修正]
8	流砂系の維持・保全に向けた取り組みについて	土砂の供給不足で海岸侵食が進んでいるという現象が起こっており、できるだけ土砂を海まで流せるような仕組みを作っていたらとトータルとして管理できると思うのでは是非検討いただきたい。	河川整備計画素案の作成に当たっては、流砂系の適正な維持に向けた土砂移動動態の定量的な把握のための調査・研究の推進に関する記述について検討します。	